

平成25年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

シートNo.1

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、中央図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名： 中央図書館

区分	事業名	事業概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目	・市民に身近な生活課題解決のため、レファレンス（調査・相談）サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・レファレンスをPRするチラシを作成し、3月に各図書館や公民館、集客施設等に配布した。 ・レファレンス事例を紹介する「レファレンス通信」を1回発行した。 ・庁内レファレンスのチラシを作成し、庁内掲示板に掲載して業務での図書館の活用を呼びかけた。 ・レファレンススキル向上のため、図書館職員を対象としたレファレンス研修を2回実施した。	・レファレンス件数は、前年度(3,808件)より62%増加した。レファレンスカウンターの表示の工夫や、中央図書館だより「Bメール」でレファレンスの特集記事を組んだことにより、件数が増加したものと考える。 ・特に市職員からの庁内レファレンスは139件で、前年度から約2倍増え、PR効果があったものと思われる。 ・今後も、課題解決型図書館の重点項目と位置付け、サービスの周知について努力していく。	1 大変評価する。62%	・市民サービス向上の為、職員の研修を更に実施してほしい。 ・役所内のレファレンスが増えたことを評価する。PRが大切である。 ・急増は素晴らしいことで、市民の利用拡大を感じる。 ・地区図書館によっては役所のレファレンス対応で精一杯なのではないか。 ・調査・相談サービスを充実させるため、スキル向上のためのレファレンス研修はPRに役立ち、課題解決がスムーズにいこうだ。 ・年2回のレファレンス研修は妥当か。利用者が満足できるレファレンスがでるか。 ・レファレンスサービスの充実は、市民にとって大変良いサービスの1つである。引き続きサービス向上を強化してほしい。 ・広報が利用者(件数)増につながった。 ・サービスに込めた願いや良さをどんどんPRしてほしい。
	◆館の重点評価項目	・市民ニーズを把握し、新たに専門機関や関係機関と連携して、講座や相談会を実施し、利用の拡大を図る。	・新潟IPC財団と協力し、ビジネスパーソンを対象としたビジネス支援セミナーを2回実施した。 ・マーケティングに役立つオンラインデータベースの活用方法をテーマとしたデータベースセミナーを1回実施した。 ・農業従事者を対象に農業情報に特化したデータベースを紹介するデータベースセミナーを白根図書館で行った。	・ビジネス支援サービス相談受付件数は前年度(251件)より38%増加した。ビジネス支援セミナーや庁内掲示板で図書館活用を呼びかけたことが増加の要因と考える。 ・新たに、農業従事者を対象としたセミナーを実施し、農業においても図書館が活用できることを周知することができた。	1 大変評価する。62%	・農業者のセミナーがとても良いと思った。 ・TPPの勉強会などもあると面白い。農業者から一般市民に農業問題を語ってもらうのもよいと思う。 ・農業のセミナーを新たにやったとのことだが全体的に少しマンネリ感が感じられる。 ・中央図書館を先導役に、いかに他館に広げられるかが楽しみである。 ・中央図書館事業の農業従事者セミナーを白根図書館で開催し、図書館活用の周知が出来たと思う。 ・“ゼロからのマーケティング” “ゼロからの経営戦略”の講習会は関係者にとって興味深く大変参考になったと思う。 ・TPP、農業特区など変わりつつある農政、その中でのより安定した経営、環境問題など、情報提供の場としての図書館の役割には今後も期待したい。 ・利用者がいる以上評価出来る。 ・若い人にとって有益な内容にすると良い。
分権型図書館	◇全館共通評価項目	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を実施する。 ・特に中央図書館所在地域の資料収集に努める。	・特別コレクション展示を4回実施した。 「新潟ゆかりの作家 大庭みな子」H25.5.2～8.6 「新潟ゆかりの俳句を訪ねて」H25.8.8～10.1 「新潟ゆかりの歴史小説家」H25.10.3～H26.2.4 「吉屋信子とふるさと新潟」H26.2.6～5.6 ・「信濃川に生まれ～流作場270年の変遷」と題して地域連携事業講演会を行った。 ・市販されないパンフレットなども積極的に収集に努めた。	・特別コレクション展示を行い、新潟ゆかりの人物や図書館が所蔵する郷土資料について広くPRすることができた。 ・地域の歴史研究グループや東地区公民館と連携・協力し、地域に密着したテーマで講演会を開催することができた。 ・今後も地域に関する情報や市民ニーズをキャッチし、さらなる郷土資料の充実を図っていく。	1 大変評価する。77%	・展示は各図書館に巡回したらよいと思う。 ・合併した政令指定都市にふさわしい地域性の尊重、その役割を一層果たしてほしい。 ・図書館来訪者以外への広報の工夫を望む。 ・コレクション展示を地区館でも開催出来ないか。 ・「新潟ゆかりのコレクション展示」等と「流作場270年の変化」の講演会には興味がわく。 ・新潟に関わるテーマを取り上げ、図書、資料で紹介する活動は地道ながら充実した取組みだと思う。特別コレクション室の存在、場所が分かりにくいのが残念である。 ・(地域連携講座での)三社神社、宮司さんのお話は良い。 ・政令市新潟の中核的な図書館としてゆかりの人物を取り上げることは重要である。
	◆館の重点評価項目	・6つの図書館協議会の全委員を対象に意見交換をしていただき、図書館の事業についての理解と関心を深めていただくとともに、話し合われた内容を図書館の運営に活かす。	・平成25年11月13日に中央図書館において、市内の図書館協議会合同情報交換会を開催し、6つの図書館協議会委員より参加をいただいた。 ・各中心図書館の館長が、それぞれのように地域を活かした図書館運営を目指すのか発表を行い、分散会で各館長の提案発表に対する意見や各図書館の情報交換を行った。	・各館長が地域の特性を意識し図書館がその特性をどう活かしているか発表を行った。発表の内容が盛りだくさんで予定よりも発表に時間がかかってしまったが、それぞれの地域の特色を前面に出すよう工夫した。 ・分散会では、各地区の図書館に感じていることなどを発表し合うことで、委員となっている図書館だけでなく、他の地域の図書館についても考える機会を提供できた。	1 大変評価する。31%	・分科会で話し合うには時間が不足気味で中途半端で終わる感じがあった。たまに全体で討論するのも良いのではないかな。 ・情報交換会で出された意見、感想をどう活かしていくかが課題である。 ・アンケートの結果にも示されているが、発表の内容・方法について一層の工夫をお願いしたい。 ・各地域図書館の個性を磨き、他館が互いに紹介出来るようレベルアップしてほしい。 ・6つの図書館協議会の全委員の意見交換は、さらに図書館事業に対して理解と関心が深まると思う。 ・地域PRIに徹し、図書館への取組についてもっと説明(PR)がほしい。
学・社・民融合型図書館	◇全館共通評価項目	・1歳誕生歯科健診会場において、赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを体験していただく「ブックスタート」を実施する。	・中央図書館が所管する4区(東区、中央区、江南区、西区)では、4,138人にブックスタートを実施した。実施率は92.6%であった。(健康福祉課がまとめている対象者数の数値がまだ確定していないため、暫定数値)	・関係各課、ボランティアの協力により順調に進めることができた。 ・会場での誘導を一部ボランティアにも依頼するなどし、効率的な運営に努めた。 ・中央区健康福祉課が1歳誕生歯科健診受診者に行ったアンケート結果では、ブックスタートについて、「満足」が87.4%、「まあまあ満足」が11.6%と、非常に満足度が高かった。	1 大変評価する。77%	・始まったばかりの取組みなので長い目で見て、育てていく必要がある。会場誘導など効果的に出来たことを評価する。親子がゆったり楽しく過ごすためには周りの配慮、準備が大切である。 ・ある程度評価するが、軌道にのったのではないと思う。 ・大変良い試みであり、今後も継続してほしい。絵本の選定についても幅広く意見を聞いてほしい。 ・ブックスタートは是非全地域でやってほしい。 ・図書館利用法説明を重視のボランティアが多くなってきているのではと懸念している。 ・本は小さいうちに親ませる方が、将来本好きな人間になる可能性があると思う。 ・図書館を利用する、本に親しむことは習慣とも言え、早い段階で始めることは効果的だと思う。 ・健診を利用するアイディアはもっと広げてほしい。 ・出生率の増加を願う。 ・ブックスタートを体験し、子どもにとっても親にとっても初めて本と触れる大変良いスタートであった。パソコンや携帯などからの映像よりも、本を見てお話を聞いてもらう等続けて欲しい事業である。 ・ブックスタートは始めるより継続することが難しい。継続してほしい。 ・若い保護者にアピールできる内容を企画すると良い。
	◆館の重点評価項目	市内4つの学校図書館支援センターが、学校・地域・関係機関と連携し、学校図書館の活用が更に活性化されるよう取組みを進める。	学校図書館訪問(310回)、業務相談(1,043件)、学校司書実務研修(15回)、学校ボランティア支援研修(12校14回)、夏休み地域開放への協力(22校23回)等を実施した。また教諭と司書合同研修を総合教育センターと共催で2回開催した。その他様々な機会をとらえて学校図書館支援センターの取組みや学校図書館について情報発信をした。	・学校本格実施3年目となり、4つの支援センター間での情報共有と合同の取組みが充実してきた。 ・学校図書館訪問や校長会等での説明を毎年重ねることで、学校図書館活用への理解が深まってきている。 ・各支援センター運営協議会や学校図書館関係課・機関連絡会議では、学校図書館活用の推進に向けて連携が進められてきた。	1 大変評価する。69%	・新潟市の学校司書全校配置は素晴らしい。さらに質の向上を目指してほしい。 ・素晴らしい取組みである。今後の一層の活躍を期待する。 ・全市一体の事業充実を中央図書館がリードしていくべきである。 ・学校の読み聞かせボラを始めるにあたって、相談・援助(グループ紹介ではだめ)を願う。現在行っている学校ボランティアのスキルダウンが多々あることを知ってほしい。 ・学校司書の相談窓口になり、司書の活動を支え、業務の標準化を進めレベルアップにつながるのが効果的だと思う。 ・校長会等へ出向いてPRが効果を上げている。 ・学校図書館訪問などの地道な取組みが重要で、実績が出ている。
パートナーシップ型図書館	◇全館共通評価項目	・市民との協働をいっそう推進するためボランティア・教育機関や民間団体と連携して事業を行う。	・今年度は、読み聞かせ等ボランティア団体など、子どもの読書活動を支援する団体を中心に15団体と、延40件の共催事業を実施した。	・中央図書館は、多目的ホールなどの施設を使用し、読み聞かせボランティア団体をはじめさまざまな分野の団体と共催、協働する事業を展開した。 ・昨年度は、図書館友の会と協働し読書週間事業として、初めて「ビブリオバトル」を行った。 ・くらしの情報講座「エンディングノート入門」を新潟県行政書士会と共催で開催し参加者に好評だった。 ・庁内15の所属と連携した展示を行い、市の情報を市民に発信した。	1 大変評価する。38%	・様々な広がりがあった。エンディングノート入門は企画が面白い。 ・図書館に対して好意的で、理解がある層に対しての活動はこの程度でよいと思う。その分、図書館を利用しないよく知らない層への活動を期待する。これがボランティア等の増加につながるのではないかな。 ・昨年度より、団体数、延べ件数が減少したが、何か問題があったのか。 ・ビブリオバトルなど時代に即応したイベントでセンスも良かった。 ・図書館ボランティアや読み聞かせボランティアを募って活動させることは図書館の活性化に繋がると思う。「読み聞かせ」は子どもだけではなく、活字を読み続けることが難しくなった高齢者にも必要ではないだろうか。施設で定期的に行うなど、本と生涯親しむ環境を期待する。 ・多目的ホールの防音効果を上げ、是非ジャズ・コンサートを聴ける空間を願う。 ・「エンディングノート入門」講座の試みは大変良い。更に開拓してほしい。
	◆館の重点評価項目	ボランティアと連携した事業を行う。また、図書館ボランティア講座を開催して、新規のボランティアを掘り起こし活動する機会を提供する。	・例年実施している事業の他、「秋のおはなし会」「クリスマスカードをつくらう！」等をボランティアと連携して行った。 ・ボランティア育成のため、図書館ボランティア講座(2回連続)を開催し、28名の参加があった(新たにボランティアを開始した人は把握している範囲で6名)。 ・読み聞かせボランティア講座(5回連続)には20人が参加し、16人が実際の活動につながった。	・事業においてボランティアとの連携をいっそう進めることができた。 ・ボランティア講座の開催がボランティアの増加につながった。 ・ボランティア講座にも実際活動しているボランティアに参加してもらい、参加者に実際の活動についての理解を深めてもらうことができた。	1 大変評価する。69%	・本の選択も良い。 ・ボランティア募集の一層の工夫をしてほしい。 ・イベント開催に、一時的なボランティアを受け入れるようなことはできないか。 ・ボランティアの数を増やして連携を一層深めたい。 ・ボランティア講座は通年事業として欲しい。カード登録者にもつながる。 ・ボランティア講座が単に開催にとどまらず、数の増加や活動の実施につながっているのが良い。